



夢の鞋

ほぼ日刊 Cカ&ラ&ッ&イト

第405号

神町中学校 夢色通信社
平成31年2月28日

エコキャップ寄贈 介護用品贈呈式

2月22日(金)、神町中学校生徒会によるエコキャップ寄贈・介護用品贈呈式が行われた。当初は体育館で行う予定であったが、インフルエンザのため校長室での寄贈・贈呈式となった。



今年も5月から10月まで、年に6回の回収を行いました。みなさんのご協力のおかげで、たくさんのアルミ缶・エコキャップを回収することができました。全部で193kgのアルミ缶が集まりました。



今年もアルミ缶回収の収益金で、白水荘さんに介護用品を寄贈することになりました。ケアクッションです。また、たくさんのペットボトルキャップも集まりました。ペットボトルキャップは、神町中学校だけでなく地域の方々からもご協力いただきました。自衛隊やベーリンガーさんからも、ボトルキャップをいただきました。約200kg(30人分のワクチンにあたる)も回収することができました。これは、山形銀行神町支店にお渡しします。みなさん、ご協力ありがとうございました。

(前期JRC委員長 矢萩智遥)

2月も終わり

2月28日の謎

今日で2月も終わり。でも、どうして2月はこんなに短いのだろう。昔のローマ帝国では、1年は3月から始まり2月で終わりでした。ですから、3月から大の月、小の月と交互に並べていき、うるう年は最後の2月に加えることになりました。これが、ユリウス=カエサル(シーザー)がつくったユリウス暦。ところが、次の皇帝アウグストスが、自分の誕生日の8月が30日というのは面白くないといって、最後の2月から1日持ってきて31日に変えてしまいました。しかし、このままだと31日の月が続いてしまうので、9月を小の月にして新しいアウグス暦をつくりました。その結果、2月は28日しかなくなっていました。しかしこれらの暦は実際の1年よりも11分長くなることがわかり、1582年のローマ法王グレゴリウス13世が改めたグレゴリ暦が、現在日本でも使われている暦です。



明日から3月

きくさいやお 木草弥生い茂る月

明日から3月です。3月は「弥生(やよい)」とよばれます。弥は「いよいよ」とか「ますます」という意味で、植物がますます生い茂る月という「きくさいやおいづき」が詰まって「やよい」になったといわれています。3月は、桃や桜が咲くので花月(かげつ)、だんだん暖かくなって眠気を誘うので夢見月、その他にも花見月(はなみづき)、桜月(さくらづき)、等の別名もあります。春とともに、草木の芽が生き生きと花開く準備を始めるこの季節。あなたは、4月、新しい環境でどんな花を咲かせるつもりですか? その準備のために、あなたは今、何をしようとしていますか?

